

令和7年度使用

中学校用教科用図書研究資料

社会（公民的分野）

北部採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|---------|--|
| 2 東 書 | <p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構成されており、単元を貫く探究課題を解決していく学習活動ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、学習内容の定着を図る「チェック&トライ」に取り組めるような構成・配列となっている。また、現代社会の見方・考え方を働かせて「みんなでチャレンジ」などで追究する工夫が見られる。</p> |
| 17 教 出 | <p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題を捉え見通す導入ページ、追究する本時ページ、捉えなおし深める特設ページ、学習のまとめと表現ページになっており、見通し・振り返ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、資料を読み取り考察する「LOOK!」や「THINK!」で課題を追究し、最後に学習内容の定着を図る「確認!」「表現!」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> |
| 46 帝 国 | <p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は章・節・見開きごとに問いと振り返りを設け、学習した内容を積み重ねながら、章の問いを追究していくことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、対話を通して学びを深める「アクティブ公民」などで課題を追究し、重要事項の確認と表現力等の育成する「確認しよう」や「説明しよう」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> |
| 116 日 文 | <p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、問いを解決し学びをまとめ・振り返るページになっており、「見方・考え方」を働かせて課題を追究する学習活動ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、「見方・考え方」を働かせる「アクティビティー」コーナーなどで課題を追究し、最後に、学習内容の理解を確かめる「確認」「表現」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> |

| | |
|---------|---|
| 225 自由社 | <p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、学習のまとめと発展のページとなっており、毎時間の学習内容について章末で重要語句を確認し、定着させる学習活動ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、図表や写真「ミニ知識」などの資料で課題を追究し、最後に、「ここがポイント」コーナーで毎時間の学習内容の振り返りに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> |
|---------|---|

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|--------|---|
| 2 東 書 | <p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各章の「導入の活動」や個人作業とグループ活動を行い、生徒自身が探究課題をつかめるようにしている。その相互作用で多面的・多角的に学びを深める「探究課題を解決しよう」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、公民の学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付けることができる「スキル・アップ」や重要な用語を解説した「もっと解説」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「くらげチャート」や「ツールミン図式」を活用し、自分の考えをまとめたり、表現したりするページを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、持続可能な社会の実現に向けた課題を意識する巻頭ページや「未来にアクセス」、また社会に参画する態度を養う「18歳へのステップ」を設けるなどの工夫が見られる。</p> |
| 17 教 出 | <p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、導入ページの「ウォーミングアップ公民」で生活体験から単元を貫く課題を捉えさせたり、「公民の技！」で自己内対話やグループ活動で思考を深めたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、本文内容から視野を広げることのできるコラム「公民の窓」や、資料の読み取りの視点を養うための「Q」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、手がかりをもとに資料を読み取り、考察させる「STEP！」や社会参画をテーマとした「TRY！」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「持続可能な社会に向けて」で持続可能な未来を意識させたり、巻末の「私の提案」で実社会の課題と向き合い探究させたりするなどの工夫が見られる。</p> |

| | |
|---------|---|
| 46 帝 国 | <p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために各部の学習の初めにイラストで社会の様々な場面を概観する活動から学習の見通しをもたせたり、他者とのやり取りから思考を深める「対話アイコン」を設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、実践的な知識・技能を習得する「18歳への準備」やロールプレイングなどの技術を習得できる「技能をみがく」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「ツールミンモデル」などの思考ツールや図などを用いて学習の整理と確認を行う「学習を振り返ろう」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、巻頭で持続可能な社会の実現に向けた意識を育ませたり、「未来に向けて」で未来の社会をつくる取組を確認できたりするなどの工夫が見られる。</p> |
| 116 日 文 | <p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、すべての本文ページに学習課題の解決に向けた「見方・考え方」が示されたり、イラストをふまえて協働的な学びを行う「学び合い」アイコンを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、学習に関する事項について理解を深める「公民+α」や、章末に学習内容を確認する「まとめとふり返り」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、巻末に「思考ツールを使ってみよう」を設けて、収集した情報についてまとめたり、深めたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように「SDGs マーク」を用いて持続可能な開発目標との関連を図ったり、「アクティビティ」で社会参画のよりよい仕組みづくりを考えさせたりするなどの工夫が見られる。</p> |

| | |
|----------------|--|
| <p>225 自由社</p> | <p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各単元において、自分たちの生活に身近な題材を取り上げたり、学んだことをもとに協働して思考したりすることができるような「アクティブに深めよう」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、既習事項を文章で表現して知識の確認をする「学習のまとめ」や、単元に関連する内容を示した「もっと知りたい」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学んだことを活用して、自分の考えをまとめたり、ディベートしたりする「課題の探求」を巻末に設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「日本人の価値観・感性」からSDGsについて考えたり「やってみよう」で身近な事象と学習内容の関連を図ったりするなどの工夫が見られる。</p> |
|----------------|--|

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|---------|---|
| 2 東 書 | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、導入・展開・まとめの学習段階に応じた最適な「デジタルコンテンツ」を活用し、動画視聴や資料の画像拡大など、学びをサポートしたり深めたりするための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、導入からまとめまでの学習の流れがわかりやすくデザインされており、学習のまとめでは思考ツールを使って自分の思考を整理し、課題解決につなげる工夫が見られる。</p> |
| 17 教 出 | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各章のはじめにある二次元コードを読み取り、動画やクイズなどの各種コンテンツにアクセスして、役立つ情報を活用し、学習効果を上げる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、各章を見通す導入ページや学習を振り返るページを設けて、課題を捉え、見通しを立てやすくすることで、学習内容の理解につなげる工夫が見られる。</p> |
| 46 帝 国 | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、生徒の個別最適な学びを支援する二次元コードが各所に掲載され、関連するコンテンツを活用しながら、生徒が自ら学習内容を定着、深めるための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、章や単元に鮮明で読み取りやすい大判イラストや学習と直結する躍動感のある導入資料を多く用いて、学習内容の理解につなげる工夫が見られる。</p> |
| 116 日 文 | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、二次元コードからアクセスできる様々なコンテンツがあり、タブレットマークを設けて、「動画」などコンテンツの種類が分かるように文字を入れる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、イラストなどを活用し、見通しをもって学習に取り組める単元構成であり、新しい事例や、生徒が身近に考えられる事例を取りあげるなどの工夫が見られる。</p> |

| | |
|---------|---|
| 225 自由社 | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、本文の近くに本文の内容を補う詳しい解説文が掲載されていたり、各単元の重要語句はゴシック(太字)で示し、すべて巻末の「さくいん」に掲載したりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、イラストとともに章のタイトルや導入となるコメントを掲載したり、単元の最後に授業でおさえるべき重要な確認事項をまとめたりするなどの工夫が見られる。</p> |
|---------|---|

4 地域課題への対応

〔観点4〕 これまでの学びや経験を生かすとともに、自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるような工夫が見られたり、本地域の実態に配慮した工夫が見られたりしているか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|--------|---|
| 2 東 書 | <p>(1) 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、「18歳へのステップ」の特設ページにおいて写真や図解を提示するなど、生徒が政治や経済を身近に感じることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 自分の住む地域の防災についても考えられるよう、災害時におけるコンビニの役割を紹介したり、災害からの復興や備えについて取り上げたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「まとめの活動」という探究的な学習ページを設定し、「S市の議員になって条例を作ろう」というテーマで学習を深めることで、総合的な学習の時間の「まちづくり」等に関する学習につなげていけるような工夫がなされている。</p> |
| 17 教 出 | <p>(1) 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、「持続可能な社会に向けて」の特設ページにおいて写真やリード文を使うなど、生徒が政治や経済を身近に感じることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 自分の住む地域の防災についても考えられるよう、ルールを作る必要性についての学習に対し「もしあなたの学校が避難所になったら」という設定で考えさせるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 終章「私たちが未来の社会を築く」では、SDGsに関わるテーマで「私の提言-自分を変える・社会を変える-」を作成する活動を行うことで、総合的な学習の時間の「まちづくり」等に関する学習につなげていけるような工夫がなされている。</p> |
| 46 帝 国 | <p>(1) 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、「アクティブ公民」の特設ページにおいて絵図やリード文を使うなど、生徒が政治や経済を身近に感じることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 自分の住む地域の防災についても考えられるよう、自然災害についての伝承、地域での取組への参画や被災地への支援などへの参画について取り上げるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「アクティブ公民」という探究的学習のページを設定し、「自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう」というテーマで学習を深めることで、総合的な学習の時間の「まちづくり」等に関する学習につなげていけるような工夫がなされている。</p> |

| | |
|---------|--|
| 116 日 文 | <p>(1) 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、「学習のはじめに」の特設ページにおいて資料やリード文を使うなど、生徒が政治や経済を身近に感じることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 自分の住む地域の防災についても考えられるよう、東日本大震災での自助・地域における共助・行政による公助について、それぞれの事例や意義を取り上げるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「チャレンジ公民」という探究的な学習ページを設定し、「自分たちの町の首長を選ぼう」というテーマで学習を深め、総合的な学習の時間の「まちづくり」等に関する学習につなげていけるような工夫がなされている。</p> |
| 225 自由社 | <p>(1) 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、「もっと知りたい」の特設ページにおいて写真や解説文を使うなど、生徒が政治や経済を身近に感じることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 自分の住む地域の防災についても考えられるよう、過去の災害からの教訓、それらを生かしたその後の行政の取組みや自分たちの取るべき行動について取り上げるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「アクティブに深めよう」という探究的な学習ページを設定し、「魅力あるまちづくり」というテーマで学習を深めることで、総合的な学習の時間の「まちづくり」等に関する学習につなげていけるような工夫がなされている。</p> |